

2023年度徳島大学生物資源産業学部

学校推薦型選抜 I 入学試験問題

小論文

出題意図

第1問

森林が有するさまざまな働きと重要性を理解し、森林を維持していくことは現代人によって極めて重要な課題である。森林の機能のうち、わが国の国民の期待が高いのは、地球温暖化防止、災害防止、水資源の涵養などといった公益的機能であり、森林がいかにしてこのような役割を果たしているのか基本的知識を問う設問とした。さらに、文章からではなくグラフから答えを導かせることで、分析力や洞察力そして論理的かつ簡潔に記述する能力を測る。

第2問

問1

我が国の魚介類の生産・消費構造の変化について理解し、国内消費仕向量の内訳や、国内生産量、輸入量、国内消費仕向量の変化について数値を読み取り理解し、その減少率を計算により求めることができる。

問2

本問題では、食用魚介類の自給率の推移を、国内生産量、輸入量、国内消費仕向量の経年変化から読み取り、その状況を理解するとともに、短期間（単年）で自給率が上昇した理由について、自給率の算出式から原因を考察する思考力を問う。

問3

我が国の食事情が欧米等の影響を受け、魚食から肉食へと変遷している現代において、環境変動に対応したサステナブルな水産業を持続し、魚介類の消費拡大を図っていくかが、本国における魚介類の自給率を上げていくために必要である。これらの対策について、普段の生活、体験や学習を通じて培われた知識を活用し、対策について考えさせる思考力や知識力、文章表現力を問う。